

報道関係者各位

プレスリリース

2025 年 5 月 30 日

リンク&リンケージ株式会社、同業他社と連携して岡山～茨城間の長距離スイッチ輸送を開始

日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループの物流・IT 企業であるリンク&リンケージ株式会社（本社：岡山市中区、代表取締役社長：秋山 隆）は、長距離輸送におけるドライバーの長時間拘束という課題を解決し、持続可能な物流体制の構築に向けて、株式会社山本水産輸送（本社：岡山市中区、代表取締役社長：山本 貢一）および株式会社大杉運輸（本社：愛知県北名古屋市、代表取締役社長：大杉 幸博）とパートナーシップを締結し、新たに「スイッチ輸送」を開始しました。

本取り組みは、東京～大阪といった大都市圏を超え、岡山県と茨城県を結ぶ長距離輸送である点、さらに資本関係のない同業他社同士による協業という点で、業界内でも珍しい事例となっています。

■背景：長距離輸送の課題とリンク&リンケージの取り組み

2024 年 4 月より施行された「働き方改革関連法」により、自動車運転業務における時間外労働の上限が年間 960 時間に定められました。高齢化等の影響により、ドライバー不足が懸念されていた物流業界において、長距離輸送の効率化をはじめ、従来の輸送方法の見直しが不可避となっています。

リンク&リンケージ社は、これまでグループ企業であるオハヨー乳業の工場が所在する茨城県と岡山県を結ぶ長距離輸送を手掛けてきましたが、長距離輸送はドライバーの長時間拘束につながるという課題がありました。

このような状況を打開する解決策として、弊社が個別で連携していたパートナー企業の山本水産輸送、大杉運輸の両社との連携を主導し、この度のスイッチ輸送の導入が決定しました。

■スイッチ輸送とは？

スイッチ輸送とは、一般的に、輸送途中で貨物を別のトラックに積み替えることで、一人のドライバーの拘束時間を短縮し、長距離輸送の負担を軽減する仕組みです。リンク&リンケージ社は、山本水産輸送および大杉運輸と提携し、愛知県豊橋市にある大杉運輸の物流拠点にて、大型トレーラーの牽引部分（トラクタヘッド）とドライバーを交代させることで貨物の引き継ぎ輸送を行います。これにより、山本水産輸送および大杉運輸のドライバーは、1 回あたりの乗車時間が短縮され、より運行に集中できるようになりました。

また、スイッチ輸送のタイミングで、トレーラー（荷台）の大型化も実施しました。従来の 18 パレット積載から、24 パレット積載可能な大型トレーラーを採用。一度の輸送量を増やすことで、さらなる輸送効率の向上を図っています。

■期待される効果

- ドライバーの拘束時間短縮：長距離を一人で運行する負担を軽減
- 労働環境の改善：日帰り勤務の実現など、ドライバーの働きやすさ向上に貢献
- 輸送の安定化：持続可能な物流ネットワークの構築
- CO2 排出削減：効率的な輸送により環境負荷を低減
- 輸送効率の向上：トレーラーの大型化により、一度に運べる貨物量を増加

■今後の展望

リンク&リンケージ社は、今後も物流業界の課題解決に向けた取り組みを積極的に進め、より多くの企業との連携を模索していきます。スイッチ輸送の導入を通じて、安全で効率的な物流の実現を目指します。

■本件に関するお問い合わせ

リンク&リンケージ株式会社 担当：菱川

TEL：086-278-4020 E-mail：m.hishikawa@link-linkage.com

URL：<https://link-linkage.com/>

以上